

活動内容と入会のご案内

私たちは

自閉症スペクトラムの子どもをもつ親や
自閉症スペクトラムに関わる支援者の会です
一人では困難な道でも、わかり合える
仲間やサポーターがいれば大丈夫！

一緒に笑って、一緒に悩んで

一緒に歩いていき

ましょう

(^^)v



NPO法人

和歌山県自閉症協会

ひとりで悩んでいませんか？
なんでも気軽にご相談下さいね

事務局直通電話

0739-25-1018

E-mail : ohkubo@vm.aikis.or.jp

〒646-0013 和歌山県田辺市南新万13-4(大久保)



このリーフレットは日本自閉症協会の全国共通フォーマットを
ベースに和歌山県自閉症協会が作成・配布しています

NPO法人 県内での取り組みと共に
和歌山県自閉症協会 日本自閉症協会所属の
正会員団体としても活動

本会は、昭和56年、県内各地で活動していた70余名の親たちが研修・啓発・親睦を目的に和歌山県自閉症児者親の会を設立し、同時に全国組織である全国自閉症児者親の会に加盟し、県内だけでなく全国規模で自閉症の教育と福祉の向上を目指して活動を展開してまいりました。

平成元年に社団法人日本自閉症協会和歌山県支部に名称を変更しました。また、この年より会員は親と関係者で構成し、平成14年より親の会時代の事業の他、医療・教育・福祉の専門家による研修と個別相談会を主とする療育キャンプ事業を開始しました。

平成20年4月1日より社団法人日本自閉症協会の定款変更により、和歌山県唯一の加盟団体として、特定非営利活動法人和歌山県自閉症協会を設立し活動してまいりました。

本会は、自閉症スペクトラム児・者本人や保護者、そして自閉症スペクトラムに関する専門家や支援者などにより構成されています。「**自閉症スペクトラムを応援していただけるなら自閉症協会に入って一緒にやっていきましょう**」と呼びかけています。現に、会員の4分の1以上が専門家等の関係者であるのも本県の特徴です。

本会の活動は、自閉症スペクトラム児者とその家族の支援、社会への理解啓発を中心に展開されていて、研修会や相談会、レクリエーション活動等も行っています。

和歌山県に住む自閉症スペクトラム児者のために、つながりや交流を大切に、「つれもていころ」の精神で頑張っていきます。賛同していただける方をお待ちしています。

ご入会お申し込み・お問い合わせ・ご相談など何でもご連絡下さい

〒646-0013

和歌山県田辺市南新万13-4(大久保)

電話 0739-25-1018

FAX 0739-25-3823

e-mail ohkubo@vm.aikis.or.jp

◀ HP <http://asw.yu-yake.com/>

事務局



会費

会員の種類	入会金	年会費
正会員(親・家族)	3,000円	7,000円
正会員(関係者・個人)	3,000円	4,000円
正会員(関係者・団体)	10,000円	30,000円
賛助会員(個人会員)	なし	3,000円
賛助会員(団体会員)	なし	10,000円

*親・家族会員は入会と同時に在住まいもしくは施設等の地域の分会に所属します。

活動内容

啓発活動



- 国連が定めた4月2日の世界自閉症啓発デー関連事業への参加
- 自閉症・発達障害療育セミナー
- NHKハートフォーラムの共催近畿ブロック会議参加
- 和歌山県との対話集会の開催
- ふれあい人権フェスタへの参加

相談活動



- ペアレントメンター協会への協力
- 療育キャンプ
- 個別相談

機関誌の送付

協会ニュース いとしご(年6回)
指導誌 かがやき(年1回)



分会活動

和歌山市分会 和歌山市
紀北分会 有田市 岩出市 紀ノ川市 海南市 橋本市 有田郡 伊都郡 海草郡
中紀分会 御坊市 田辺市 日高郡 西牟婁郡
紀南分会 新宮市 東牟婁郡



- 交流会・茶話会
- レクリエーション活動 クッキング パーベキュー ボウリング大会など
- ニュースレターEcola発行

部会活動
●専門家部会

自閉症スペクトラムの人たちに対する福祉の増進
および社会参加の促進を図り、広く社会に貢献することを
目的として活動

日本自閉症協会

- 都道府県自閉症協会 47団体
- 政令都市自閉症協会 3団体
(横浜・川崎・神戸)
- グローバル会 1団体
(地域を越えた専門家等の会)

※正会員団体構成人数は
約13,000人
(2017年4月現在)

活動

情報の収集・発信

機関誌「いとご」(年6回)と指導誌「かがやき」(年1回)の発行やホームページでの情報提供。

相談事業

臨床心理士による電話相談:毎週月曜日・金曜日(無料)
家族相談員による相談:第1~3水曜日(無料)
臨床心理士による専門相談(電話・面接)(要予約・会員無料)
お問い合わせ・予約▶ 03-3545-3382 (相談専用ダイヤル)

講演会・研修会

全国各地で講演会や研修会、全国大会(隔年)の実施。

各地の正会員団体の交流・支え合い

総会・役員連絡会・研修会等で情報交換や意見交換。
災害が発生したときの全国からの支援や応援。

行政への働きかけ、政策提言と施策改善推進

厚生労働省・文部科学省を中心とした省庁への要望書提出と懇談会への出席、政党別ヒアリングへの出席やパブリックコメント提出等による団体の意見表明。

調査・研究

医療・教育・福祉・就労など自閉症スペクトラムに関する調査や研究の実施、専門家への協力。

保険事業「自閉症スペクトラムのための総合保障」

ASJ保険(付添介護、差額ベッド、入院臨時費用等)と
AIG 保険(傷害保険、他人への損害賠償)の総合保障。

お問い合わせ▶ フリーダイヤル: 0120-880-819
Email: asj-hoken@autism.or.jp

一般社会への理解・啓発

世界自閉症啓発デーイベントの実施と全国での啓発活動の推進。
自閉症ガイドブックシリーズ等の書籍とDVDの発行。

ぜひ、ご入会ください!

お申し込みは地域の正会員団体まで



自閉症協会に入会するメリット

仲間

同じ悩みをわかりあい、相談し合い
励まし合い、支え合う仲間になりま
しょう。先輩や専門家・支援者の
みなさんとの交流もあります。



有効な情報・知識

今後さらに変化していく福祉制度、
成果を上げている取り組み、療育など
有効な情報がいち早く手に入ります。



数を力に!

会員数がたくさんの思いを伝え
行政をはじめ社会への発信力を
高めます。全国の正会員団体が
力を合わせ、社会の理解啓発や
支援体制づくりへ向け様々な
活動に取り組んでいます。
あなたの入会でさらに一歩前進!



自閉症スペクトラムの人たちが安心していきいきと
生活できる社会に向けて、一緒に取り組みましょう!

日本自閉症協会のあゆみ

- 1968年(昭和43年) 全国各地の自閉症児を持つ親たちの会が「自閉症児・者親の会全国協議会」を結成
- 1989年(平成元年) 「社団法人 日本自閉症協会」として 専門家や支援者も参加して新スタート
- 2014年(平成26年) 「一般社団法人 日本自閉症協会」に

〒104-0044
東京都中央区明石町6-22 築地ニッコンビル6階
TEL 03-3545-3380 FAX 03-3545-3381
E-mail asj@autism.or.jp
ホームページ http://www.autism.or.jp/

自閉症スペクトラム(ASD)とは?

ASD: Autism Spectrum Disorder

自閉症スペクトラムは生まれつきの脳機能の違いにより
情報処理が一般の人と異なります。対人関係、コミュニ
ケーション、興味の範囲などに特徴があり、知的な遅れ
の有無や、それらの程度に個人差が大きいため、問題の
現れ方や本人の困難さはさまざまです。

違う症状に見えても自閉症の特徴が共通していること
から、「自閉症」「高機能自閉症」「アスペルガー症候群」
などをまとめて「自閉症スペクトラム」と呼びます。

困難さは軽減できます!

2004年に発達障害者支援法が制定され、2016年5月に
改正されるまでの間に、障害者権利条約の批准や障害者
差別解消法の制定など、法整備が進められてきました。
このような法整備に伴い支援体制の充実や研究の発展
など、自閉症スペクトラムを含む発達障害を取り巻く
環境も大きく変わってきています。

正しい理解と適切な対応がご本人の困難さを軽減し、
よりよい地域生活につながります。

施策3本柱

適切な早期支援
療育・教育の充実

社会の理解と
合理的配慮

福祉・医療・労働
支援制度の強化



詳しくは日本自閉症協会発行の書籍を!
自閉症の手引き (H28年2月1日改訂版) 300円+税
自閉症ガイドブックシリーズ 等
ご注文は日本自閉症協会事務局までどうぞ

毎年4月2日は国連の定めた
世界自閉症啓発デー
4月2日~4月8日は
発達障害啓発週間

